

パリ市・ヨーロッパ写真館コレクションから/collections de la Maison Européenne de la Photographie

フランス写真の新たな展開 1980-90

1992.12/18^{FRI}金—1993.1/26^{TUE}火 東京都写真美術館

■開館時間:午前10時—午後6時[入館は午後5時30分まで] ■休館日:第2・4水曜日/12月28日(月)~1月4日(月)



マルク・ル・ムネ<ローマ>1990年

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

■観覧料:一般・大学生500(400)円/小・中・高校生250(200)円*()は10名以上の団体料金

展覧会のご案内:(03)3280-0099[テレフォン・サービス]

共催:東京都/パリ市/東京・パリ友好都市提携記念事業実行委員会/財東京都文化振興会/パリ・オーディオヴィジエール



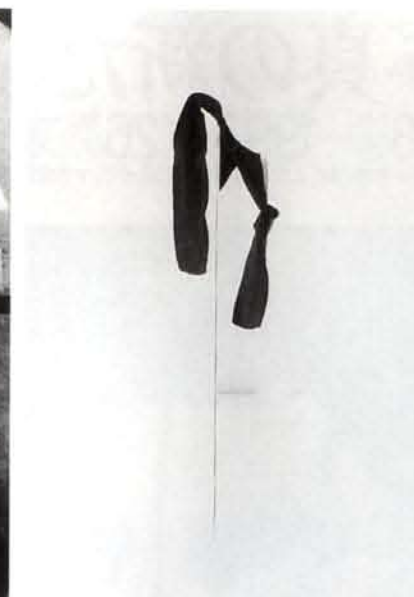
東京・パリ友好都市提携10周年記念

ロセラ・ペルーチ/ベルナル・フォコン/ビエール・ドゥ・フヌイ/アラン・フレシェール/マルク・ル・ムネ/ベッティナ・ランス/ドミニ・ロシュ/ジョルジュ・ルース/田原桂一

Photographie française : La décennie créative, 1980-90



ビエール・ドゥ・フヌイ<ルーヴル, フランス>1983年



ロセラ・ペルーチ<静物『黒いストッキング』>1986年



田原桂一<ヌード>1985年



ベルナル・フォコン<燃える雪>1981年



ジョルジュ・ルース<ラ・ジョウ>1984年

本展は、東京・パリ友好都市提携10周年記念事業の一環として、「パリ写真月間」の責任者モンテロッソ氏が構成する展覧会です。1990年の「パリ写真月間」では東京都写真美術館の「日本のコンテンポラリー」展が開催され、日本の現代写真がフランスに紹介されました。今回は、フランスの写真界にとって大きな転換期となった80年代の代表的作品を日本に紹介し、その表現の意味を探ります。

1980年代、若い世代の写真家たちは、それまで主流であったアメリカの影響を拭いさり、新たな表現の実験を試み始めました。同時に、写真

を扱うギャラリーや出版社も数多く出現し、公の機関もこのような状況にふさわしい政策を展開します。隔年、「パリ写真月間」が開催され、大規模な公のコレクションが生まれ、写真センターと国立写真学校が設立されました。このように80年代において、フランスの写真界は大きな飛躍をみせたのでした。

現在、パリ市は1994年の開館に向けて「ヨーロッパ写真館」の準備を進めています。今回は、そのコレクションの中から80年代のフランス写真を代表する写真家9人を選び、96点の作品で構成しています。

講演会のお知らせ

テーマ「フランス写真の新たな展開 1980-90」

日時:12月18日(金)午後4時~6時

会場:東京都庁・第二本庁舎ホール(1階)

東京都新宿区西新宿2-8-1

講師:ジャン・リュック・モンテロッソ

(「パリ写真月間」ディレクター)

フロア・レクチャーのお知らせ

第一回 12月26日(土)午後2時~

第二回 1月9日(土)午後2時~

第三回 1月15日(金)午後2時~

第四回 1月23日(土)午後2時~

次回展覧会予告

「クリティカル・ランドスケープ」

会期:1993年2月5日(金)~3月23日(火)

次回講演会のお知らせ

テーマ「コンテンポラリー・ランドスケープ」

日時:1993年2月5日(金)

会場:東京都庁・第二本庁舎ホール(1階)

東京都新宿区西新宿2-8-1

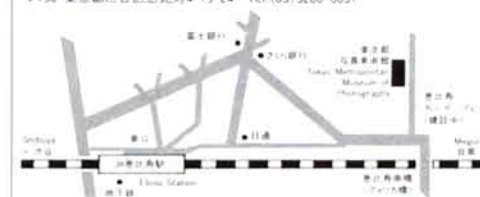
講師:シェリル・コンケルトン

(ロサンゼルス・カウンティ美術館学芸員)

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24 Tel.(03)3280-0031



交通機関:JR恵比寿駅東口より徒歩8分/お車での来場はご遠慮下さい。
(東京都写真美術館は、平成6年度に総合施設が現在の約1/3の規模で開館します。)

Rossella BELLUSCI/Bernard FAUCON/Pierre de FENOYL/Alain FLEISCHER/Marc LE MENE/Bettina RHEIMS/Denis ROCHE/Georges ROUSSE/Keiichi TAHARA